

令和元年度

教材・教具集

※ 本校にある教材・教具の一部を掲載しました。

※ 貸し出しや作り方など、教材・教具についての問い合わせは、

以下にご連絡ください。

名古屋市立守山養護学校

〒463-0011

名古屋市守山区小幡一丁目14番6号

電話 〈052〉794-5466（代）

FAX 〈052〉795-2615

Email : moriyama-sh@nagoya-c.ed.jp

お問い合わせは、特別支援教育コーディネーターまで

【見出しの見方】

小	1	2	3	4	5	6	重	共
---	---	---	---	---	---	---	---	---

学部 学年等（重…重複学級 共…共通）

教科領域名

図画工作

教科領域名

小	1	2	3	4	5	6	重	共
---	---	---	---	---	---	---	---	---

教科領域名	生活単元
-------	------

題材名 体験学習に行こう

教材・教具名 小型バス



使い方・使用のポイント

＜使い方＞

- 付属のひもを引き、ゆっくりと引っ張る。
- ひもを短めに持つと、カーブを曲がりやすい。
- 大人1名・子ども2名まで乗車可能。

＜使用上の留意点＞

- 曲がったり、止まったりする際は、児童が落ちないように注意する。
- 乗車の際に、台車の下に足を出さないようにする。

小	1	2	3	4	5	6	重	共
---	---	---	---	---	---	---	---	---

教科領域名	音楽
-------	----

題材名 ○○さんの鈴がリンリンリン

教材・教具名 リンリンパネル



使い方・使用のポイント

- 児童が手で触れて鈴の音を出すことができるように「○○さんの鈴がリンリンリン」という歌を歌いながらパネルを児童に向ける。
- 児童が音がする方に気付いて鈴の音を出しに行くことができるように、パネルを上下左右に移動させる。

小	1	2	3	4	5	6	重	共
---	---	---	---	---	---	---	---	---

教科領域名	図画工作
-------	------

題材名 スタンプを押そう

教材・教具名 スタンプ



使い方・使用のポイント

《使い方》

適量の絵の具を器に準備し、絵の具を付けて、テーマに沿った色や模様をスタンプで押すことができる。

《使用のポイント》

- ・絵の具の量によって、模様の出来具合が変化するので、絵の具の量を調整する。
- ・持ち手の位置を実態に応じて調整する。スタンプ部分に近いほど押しやすくなる。

《良い点》

- ・スタンプの部分を変えるだけで、様々な模様ができる。
- ・持ち手の太さは、ペットボトルを替えることで調整できる。

中	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	職・家
-------	-----

単元名 買い物に行こう

教材・教具名 模擬自動販売機



使い方・使用のポイント

<使い方>

硬貨投入口に硬貨を入れて商品を選び、ボタンを押すと飲み物が取り出し口から出てくる。

<使用のポイント>

- ・ 卓上で使えるものにすることで、座位を維持することが難しい子どもも使いやすい。
- ・ 手先が不器用な子どもにも扱いやすいように、硬貨の投入口を大きくしたり、ボタンに凹凸をつけたりする。

中	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	数学
-------	----

単元名 個別学習

教材・教具名 目で見てできる課題（自立課題）

写真とイラストの マッチングの課題



3色のマッチング課題

使い方・使用のポイント

個別学習のときに、最初と最後に組み込むと、より取り組みやすい。
課題が全て終わったときに、おしまい箱を用意して、そこに入れるように
すると分かりやすい。

中	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	自立活動
-------	------

単元名 ペグさし

教材・教具名 自作 25 ペグ・100 ペグ



使い方・使用のポイント

<使い方>

ペグを穴に入れて、並べる。

<使用のポイント>

- ・ 列ごとに色を指定することができる。
- ・ 同じ色を一直線に置いたり、△や屋根などの形を作ったりして、生徒の発育段階に応じた活動の組み合わせが期待できる。
- ・ 子どものその日の状態や、時間に応じて取り組むペグの数を変えることができる。
- ・ 25 ペグに繰り返し取り組ませることで達成感を高めることができる。

普	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	数学
-------	----

単元名 時刻と時間

教材・教具名 時計の模型



使い方・使用のポイント

《使い方》

始めに 12 時に合わせてから、青い分針のみを動かして時刻を合わせる。

《使用のポイント》

実態に合わせて補助の目盛りの入ったものと使い分ける。

教師用の大きいものは、補助の目盛りが着脱が可能。

普	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	社 会
-------	-----

単元名 愛知県の位置と市町村、名所

教材・教具名 愛知県の名所フラッグ立て



使い方・使用のポイント

《対象の児童・生徒》

9～10才（小学校3～4年生）程度の知的発達段階の児童・生徒

《使い方》

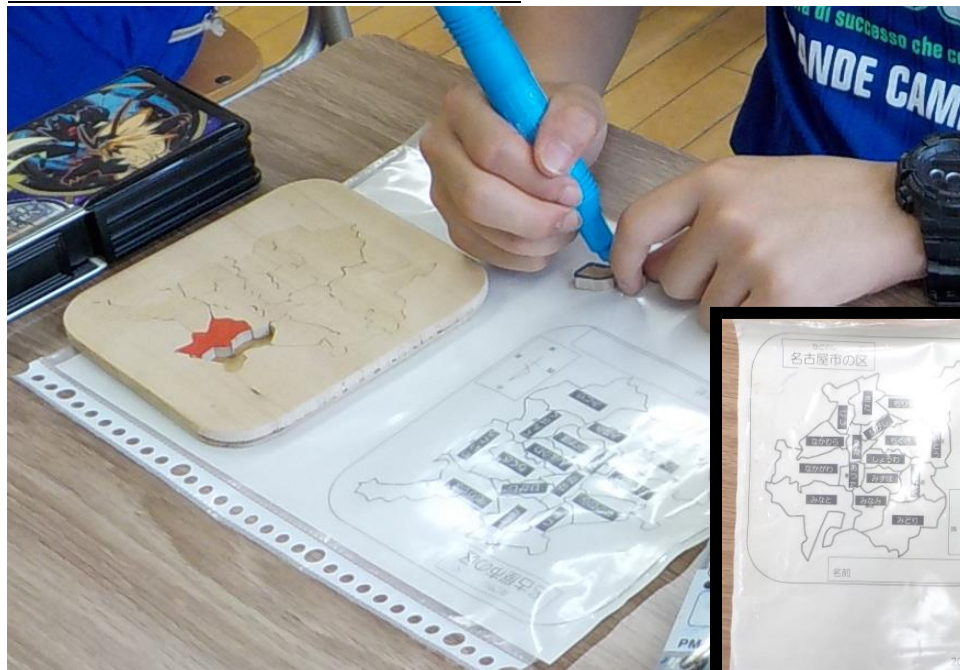
- ① 愛知県の形に切った板を、プリントの地図上にぴたりと貼り付ける。
- ② 木の縁（県境）を指でなぞりながら、順番に岐阜県・三重県・太平洋・静岡県・長野県といった愛知県周囲を確認する。
- ③ フラッグの色と、地図上のドットの色を参考にしながら、名所フラッグを該当の所に立てる。
- ④ フラッグを確認しながら、プリントに名所の名前と所在市町村を書く。

作り方

- ① A5サイズ程度の愛知県市町村地図を用意し、それを木材（厚さ10mm程度）に貼る。
- ② 電動糸のこ盤で県境に沿って切り、名所所在地に爪ようじが刺さる穴をあける。
- ③ 木材に貼った地図と同じ大きさの地図と名所写真をプリントに載せる。
- ④ 表に名所写真、裏に名所の名前と所在市町村名を書いたフラッグを作る（支柱は爪ようじ）。

単元名 名古屋市の区

教材・教具名 名古屋市の区パズル



使い方・使用のポイント

《対象の児童・生徒》

9～10才（小学校3～4年生）程度の知的発達段階の児童・生徒

《使い方》

- ① ピースを一つずつ形や大きさを確かめながらペンで色を塗る。
- ② 区名・タイトル・方角・名前（記名する）ラベルを見本プリントを参照しながら貼る。
- ③ パズルを組み立てて遊んでみる。
- ④ 「区はいくつありましたか」「一番大きな（小さな）区はどこですか」「名東区の西隣は何区ですか」などを指導者が質問したり、友達同士で質問しあったりして、対話的で深い学びを促す。

作り方

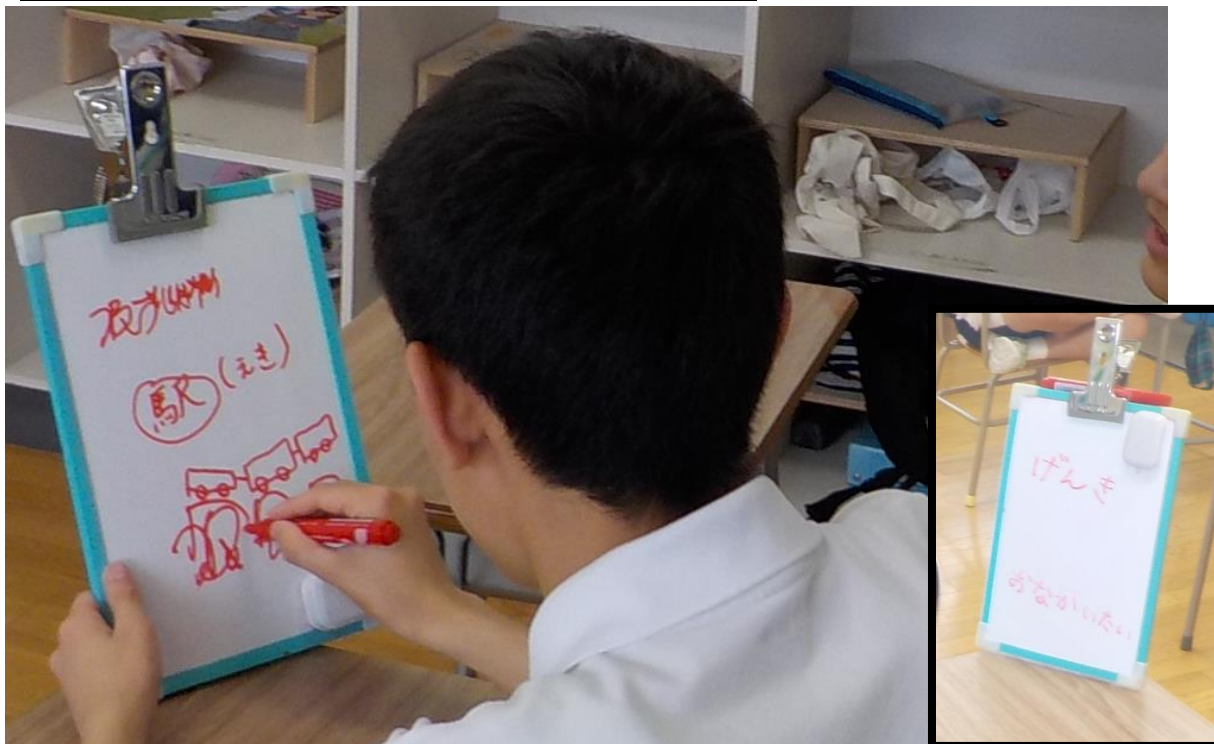
- ① A5サイズ程度の名古屋市白地図を用意し、それを木材（厚さ5mm程度）に貼る。
- ② 電動ドリルで白地図線上一箇所穴を開けて、そこから電動糸のこ盤で切り抜く。
- ③ 枠側木材と同じ大きさに木材を切り、貼りあわせて底板とする。
- ④ ラベルは、両面テープでシール化しておく、スムーズにパズル作りができる。

普	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	自立活動(コミュニケーション)
-------	-----------------

単元名 _____

教材・教具名 コミュニケーション(筆談)ボード



使い方・使用のポイント

《対象の児童・生徒》

音声での意思疎通の発達がゆっくりで、文字や線画の理解ができ、かくことができる児童・生徒

《使い方》

- ① 蛇腹の両端にクリップが付いたものの一端にホワイトボードを取り付けて、一端に児童生徒机に設置する。
- ② 指導者から児童生徒への情報提供や児童生徒から指導者への意思発信をするときに、ホワイトボードへ文字や線画を書いて伝え合う。
 - 例
 - ・ 一斉授業の中での全体に向けた指示を、簡潔にホワイトボードに書いて、補足説明したり、確認しやすくしたりする。
 - ・ 選択肢を書いて指差して選ぶことができるようにして、意思発信しやすくする。
 - ・ 指導者からの言葉掛けに応えるときに、文字や線画を書いて具体的に伝える。
 - 今後に向けて
 - ・ メモ帳や、家族が使用しているスマートフォンの筆談や黒板アプリに発展できるとよい。

普	1	2	3	重	共
---	---	---	---	---	---

教科領域名	自立活動（身体の動き）
-------	-------------

単元名 _____

教材・教具名 防災頭巾にもなる姿勢保持しやすいいすのクッション



使い方・使用のポイント

《対象の児童・生徒》

- ・ 机上学習中の姿勢保持が難しい児童生徒
- ※ 災害時や訓練時の防災頭巾として使用する。

《使い方》

- ① 座面クッションの厚みも含め、児童生徒の身長、四肢長にあった児童生徒いすを用意する。
- ② その児童生徒いすに背面クッションを設置（座面クッションは前後位置を微調整可能）する。
- ③ クッションを設置したいすに座って机上活動に取り組む。
- ④ 震災などが起きた場合や防災訓練のときは、背面クッションを外して頭にかぶり、防災頭巾として使う。

單元名 第1回校内実習

教材・教具名 実習日誌・手順表・揭示物（目標・出来高数）

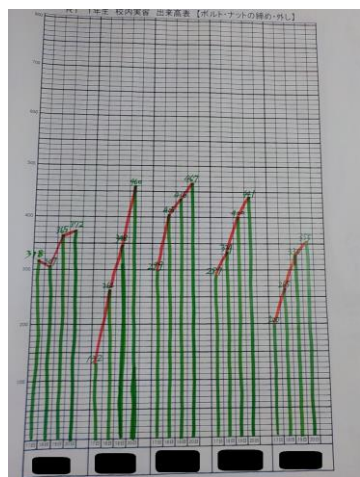
[illegible]

タオル「だだみ」手順表

① タオルの裏側を上にしてひく。 ② 左下の角を上折りあげる。 ③ 左にまわす。

④ 中央に板をのせる。 ⑤ 右はしを折る。 ⑥ 左はしを折る。 ⑦ 右はしを折る。

⑧ 板を抜く。 ⑨ 下から巻く。 ⑩ 巻き終わりを下に、して、ケースに入れる。



使い方・使用のポイント

- 実習日誌への記入を通して、作業における目標を、目標数や出来高数とともに意識して活動できるようにする。「今日の反省」では、生徒自身でチェックすることで、翌日の目標を立てるときにも活用できるようにする。「今日の振り返り」では、指導者からの注意や教えられたことを記録できるようにする。また、保護者からの記入欄を設けることで、校内実習への理解や協力を得ることにつながる。
- 手順書（写真と説明）を用いることで、作業手順を視覚的に分かりやすくし、手元に置くことで手順に迷った場合にも、生徒自身で確認することができるようにする。
- 班や個人の目標や出来高数を、模造紙大のサイズで掲示することで、より目標を意識することができるようにする。また、出来高数をグラフ化することで、伸び率を把握することができるようにする。

産	1	2	3
---	---	---	---

教科領域名	職業
-------	----

単元名 現場実習に向けて準備しよう

教材・教具名 現場実習オリエンテーションのワークシート

月 日

現場実習オリエンテーション

年 組 番 氏名

1 目的（ねらい）

① 実際の職場と同じ約8時間の仕事をしたり、実際の仕事をしてみること
で、働くことの（ ）や仕事をするための（ ）を知
り、（ ）を高める。

☆就労意欲・・・（ ）

② 一週間（月～金）の期間で働くことにより、働くために必要な
（ ）を意識するとともに、（ ）、（ ）の大
切さを知る。

☆気力・・・（ ）

③ 実習を通して、社会人として職業生活を送る上での態度やマナー、ルー
ル、人間関係を学び、望ましい（ ）・（ ）
をさらに深める。
自分基準ではなく（ ）を学ぶ。

☆職業観・・・

☆勤労観・・・

④ 今までの様々な学習活動を通して学び、身に付けてきたことを実習で
実践することで、（ ）や（ ）をつかみ、今後の
学習や実習に生かす。

☆成果・・・

☆課題・・・

2 期日

① 月 日（ ）～ 月 日（ ）
② 月 日（ ）～ 月 日（ ）
※①と②の期間で五日間ずつ実習する予定（ 力所の会社で実習）
※会社と調整し、期日がずれることがある。

3 実習先
現在、調整中

4 今後の予定 ～実習までに行う活動～

① オリエンテーション
② 事前学習
・あいさつ練習
・通勤経路練習（ ）
・プロフィール作成
③ 事前訪問（2カ所へ）
④ 現場実習（ ）

5 実習後に行う活動

① お礼状書き
② 振り返り活動
③ まとめ作成

6 実習へ向けて大切にしたいこと

・まず、実習ができることに（ ）しよう！
・自分の課題を（ ）を意識して学校生活を送ろう！
・「 」を「 」
ことを意識して学校生活を送ろう！
・（ ）生活を心がけよう！
・礼儀正しいあいさつや話し方などを（ ）にできるようにし
よう！
・（ ）の気持ちを大切にしよう！
・人と比べず、不安なことは（ ）に相談しよう！
・「 」という気持ちを大切にしよう！

使い方・使用のポイント

- ・ 同じ流れで分かりやすいプレゼンテーションを見せながら、基本的にはプレゼンテーションを見て説明を聞くように指示する。
- ・ プリントを見て、振り返ることができるように自ら記入する場所を作り、記入しながら説明を進めていく。
- ・ 実習に向けての心構えや目的をはっきりさせることのみに焦点をあて、指導を進める。

教科領域名	国語
-------	----

教材・教具名 国語学習プリント

使い方・使用のポイント

- 書写の練習では、文字をよく見て丁寧に書き写すことと、今後、履歴書を書くことを意識して、横書きで文字も小さく書くことができるようにする。
- 意味調べでは、物語を読むときに内容がわかるような単語を選び、辞書を使って調べる練習ができるようにする。
- 漢字の練習では、漢字の練習と読み仮名も覚えることができるようにする。
- 文章読解では、物語を読んで内容を理解させた後、感想や問題文を読み、答えを考えることができるようにする。